

令和2年度第1回豊明市地域公共交通会議 議事録
 (豊明市地域公共交通活性化協議会合同会議)

日 時 令和2年6月3日(水) 午後2時30分から午後4時30分まで
 場 所 豊明市商工会館1階 イベントホール
 出 席 者 20名(うち代理出席6名)
 欠 席 者 3名
 事 務 局 豊明市役所 行政経営部 企画政策課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有(9名)

- 議 題
- (1) 豊明市地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について
 - (2) 豊明市地域公共交通活性化協議会財務要領の一部改正について
 - (3) 豊明市地域公共交通活性化協議会事務局要領の一部改正について
 - (4) 令和元年度豊明市地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告について
 - (5) 豊明市地域公共交通網形成計画(令和元年度分)の個別評価について
 - (6) 令和2年度豊明市地域公共交通活性化協議会予算及び事業計画について
 - (7) 令和2年度豊明市地域公共交通活性化協議会の監査委員の選任について
 - (8) 豊明市地域公共交通計画策定に向けたスケジュールについて
 - (9) 「チョイソコとよあけ」実証実験第4期運行計画の実証結果について
 - (10) 「チョイソコとよあけ」第6期運行計画案について
 - (11) 「チョイソコとよあけ」本格運行に向けて

議事内容

※内容(要旨)では、チョイソコとよあけを「チョイソコ」と記載しています。

発 言 者	内 容(要 旨)
	開会
会長挨拶	
松本会長	豊明市はチョイソコの導入で、日本中から注目されている。そして、チョイソコが住民の方々の外出促進につながる大きな目的だと感じている。そのために関係者、住民の方々の意見を反映しながら、この街に合うような仕組みにしていくことが何より大事だと思っている。もちろんチョイソコだけではなく、鉄道、バス、タクシーなどの交通事業者、そして近隣市町のすべてが連携した交通網を作っていく必要があると思っている。皆様のご協力を仰ぎながら作っていかねばと考えているので協力をお願いします。
【議題】	<ul style="list-style-type: none"> (1) 豊明市地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について (2) 豊明市地域公共交通活性化協議会財務要領の一部改正について (3) 豊明市地域公共交通活性化協議会事務局要領の一部改正について

※議題（１）、（２）、（３）合同審議	
	（特になし）
【議題】（４）令和元年度豊明市地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告について	
松本会長	前後駅バス待合所は私も利用したことがあるが、すごく良くなっていると感じた。広報誌やひまわりバス、近隣市町のバスの情報提供もされていて、価値のある環境整備ができたと思う。
【議題】（５）豊明市地域公共交通網形成計画（令和元年度分）の個別評価について	
松本会長	我々にとって重要なのは、コロナによって離れた利用者がいつ戻ってくるのかということ。そのためには公共交通機関に安心して乗れるための環境をいかにして提供していくかということが重要になってくる。利用状況の報告や、安全対策の周知も含めて、各交通事業者から情報をいただきたい。
委員 （名鉄バス）	利用者については、最悪の時期には前年３５％利用減くらいにまで落ち込んだ。安全対策については、バス車内の換気のために窓を開けながらの運行や、車内の消毒、乗客との距離をとるための透明のカーテン設置、乗務員に対してはマスクの着用を義務付け、出勤時の体調確認等も行っている。
委員 （アイシン精機）	利用者については、４割減程度の影響がある。安全対策については、運行前後の消毒はもちろん、運行中の手すり、バックル等の消毒や、消毒液の設置、運転手へのマスク提供、可能な範囲で利用者に対して座る位置を離れてもらうよう促すこと、時間の余裕がある場合については、利用時間をずらしてもらうように働きかけ、３密の状況を避けるように配慮した。
委員 （タクシー協会）	４月以降、利用者については大変厳しい状況が続いており、昨年の７割から８割減、中には休業中のタクシー事業者もある。安全対策については、名古屋タクシー協会のホームページでも発信をしているが、マスクの着用、車内の消毒、窓開け換気等の安全対策を行うとともに、周知も行っている。一人で乗ってもらう限りは安心して乗っていただける交通機関であると考えているので、ぜひ利用していただきたい。
松本会長	各交通事業者は、きっちりと対策をとっている。しかしながら、まだまだ利用を推奨できるような段階には至っていないため、各自必要に応じて利用していただければと思う。
【議題】（６）令和２年度豊明市地域公共交通活性化協議会予算及び事業計画について	
委員 （愛知運輸支局）	公共交通計画を作るためのアンケート調査とあるが、アンケート調査以外に何かやることはないか。というのも、交通事業者の今がどうか、今後がどうか、ということ把握しておいてほしいという思いがある。コロナの影響により利用状況が悪化し、車を休ませているということもあるため、いつから事業者の体制が整うかということを確認しながら公共交通計画を考えていかないと、計画を作ったはよいが、本当に実行できるのかということにもなる。ぜひそのあたりを把握したうえで計画を策定してほしい。
松本会長	コロナの状況が見渡せない中、見えている部分ということもあると思う。見えている部分に関しては公共交通計画に反映、含めていかなくってはならないと思

	うし、各交通事業者それぞれのコロナと向き合う時代の考え方があるので、それをしっかりと捉えていったうえで、計画を策定していく必要がある。
【議題】（7）令和2年度豊明市地域公共交通活性化協議会の監査委員の選任について	
	豊明市女性の会会長及び豊明市心身障害者（児）福祉団体連合会会長の2名を指名
【議題】（8）豊明市地域公共交通計画策定に向けたスケジュールについて	
委員 （大府市）	大府市の巡回バスは前後駅に乗り入れをしており、市民にも非常に好評である。豊明市にはぜひとも相互乗り入れをしていただければと思っている。公共交通計画策定のタイミング等があると思うので、検討をお願いしたい。
松本会長	公共交通計画での交通ネットワークの見直しということもあるかと思う。広域の移動ニーズに対応した利用促進策、利用者アンケート、大府市からのデータ提供等での実態を把握し、自治体内部で閉じこもるのではなく、利用実態に合わせて、市民の利用が便利になるような交通ネットワークをぜひとも作っていただきたいと思っている。
委員 （老人クラブ）	東郷町にららぼーとが建設されるが、それに伴う渋滞が予想される。自家用車を減らすための公共交通機関の整備ができればよいと考えているがいかか。
事務局	今現在、ららぼーとへの乗り入れは検討していない。
委員 （東郷町）	東郷町の交通結節点として、ららぼーとに近接してバスターミナルを建設予定。開業後しばらくは、渋滞が予想されるため、来年4月からバスターミナル～藤田医科大学病院をつなぐシャトルバスを乗入れる予定である。
委員 （名鉄バス）	ららぼーとは、開業当初はかなりの渋滞が生じると予想している。名鉄バス愛教大線系統の渋滞緩和のため、4月にバスターミナルへの乗り入れを予定している。また、星ヶ丘・豊田線もららぼーとに隣接するバス停があるのでうまく活用していきたいと考えている。豊明市管内については、今は残念ながら計画等はない。
松本会長	東郷町から藤田医科大学病院への乗り入れという話があるが、ぜひ豊明市民も使えるようなものにしてもらいたい。お互いに連携、協議して決めていってもらいたい。
【議題】（9）「チョイソコとよあけ」実証実験第4期運行計画の実証結果について	
委員 （愛知運輸支局）	ヘビーユーザーの固定化問題というのがある。そういった方の帰りの交通手段、目的、固定化されて困っているかどうか、そういうことがあれば教えていただきたい。
事務局	帰りの交通手段について、11月の利用者アンケートでは、チョイソコ以外の交通手段を利用している人も見受けられた。また、ヘビーユーザーの方々の利用目的については、通院であったり、買い物であったり、運動のための体育館であったりと、様々な形で利用されている。
松本会長	特定のヘビーユーザーの方の利用によって、利用が制限されてしまっているというような状況はないか。

事務局	推測ではあるが、そういう状況は多少生じているかもしれない。利用の制限については過去に検討したことはあるが、現状は利用の制限を設けていない。
松本会長	公平性の確保のため、利用の制限策をとる必要があるかもしれない。
委員 (アイシン精機)	現状、特定の方によって他の利用者が抑制されてしまっている状況であるとは考えていない。オペレーター側で、利用者が予約をしてからでも、予約者に連絡をして予約時間を調整するというようなことも行っている。
松本会長	ヘビーユーザーによる利用の偏りによって使えない人が出てきているとしたら、それは問題として捉えなければならない。チョイソコが特に多く使われている時間帯、便、それによってはじかれてしまっている人がどれほどいるのか調査が必要であると思う。オペレーターの方の予約の調整努力については引き続き行ってほしい。
委員 (豊明交通)	予約の受付時間については、2週間前からではなく、1週間前程度からにした方がよいと思われる。
委員 (アイシン精機)	予約の受付時間について、受付可能時間をずらして実証実験を行い、試している最中である。2週間というのはあくまでも実験であるため、結果によって受付可能時間の検討をしていきたいと思う。
【議題】 (10) 「チョイソコとよあけ」 第6期運行計画案について	
委員 (タクシー協会)	予備車両の乗合と乗用の併用可否について、愛知運輸支局に確認したい。
委員 (愛知運輸支局)	公共交通会議にて認められれば可能である。
委員 (愛知運輸支局)	実証実験中の検証事項について、支局への申請の際には、明記したうえで申請手続きを踏むようお願いしたい。また、チョイソコを公共交通計画の中でどう扱っていく予定かはっきりしていないように見受けられる。今年度調査を行っていくということだが、チョイソコを市の公共交通機関と位置付ける場合、来年10月辺りには事業が固まっていけないため、チョイソコの目的・目標値の設定を早めに行い、あまり実証運行を先延ばししすぎないように、もう少し前倒して進めていってほしい。
松本会長	地域公共交通計画策定に向けたスケジュール(資料7)にチョイソコのスケジュールも組み込み、整合性のとれたスケジュール作りをしていくと、委員の認識も一つになり、よいと思われる。また、チョイソコの目的・目標値についてもしっかり明記していくようにしていただきたい。
【議題】 (11) 「チョイソコとよあけ」 本格運行に向けて	
委員 (バス協会)	実証運行の延長ということであるが、3年経過して、なお実証実験の必要があった場合の扱いについて伺いたい。
事務局	道路運送法第21条による実証運行については、最大3年と聞いている。つまり、今後1年半の期間内で同法第4条による本格運行に移行していきたいというのが事務局の考えである。令和2年10月からの運行事業者を選定し、4条申請に必要な協議が整い次第、4条運行に移行したい。

<p>委 員 (愛知運輸支局)</p>	<p>4条運行できないから、21条運行である。そして、4条運行できない理由は何なのかということが問われることになる。21条運行については最大3年であるため、同じ形でなお継続ということは当然許可されない。1年半やってまた同じことをやるのであれば、21条運行である意味はない。先ほども申し上げたが、チョイソコは、何を目的として、何を目標として、何を満たしたら成功と呼べるのかがいまいちはっきりとしていないため、今後、公共交通計画にどう明記していくかを考えていってほしい。</p>
<p>松本会長</p>	<p>新しい仕組みであるチョイソコは、日本全国でも注目されている事業の一つである。これから日本でもどんどん普及していくであろう MaaS、いわゆる交通事業者とそれをオペレートする主体が異なるという形式であるが、地域公共交通会議で議論すべき内容・範疇、そして議論できる内容が明確でないので、これを機会に整理をして、新しい枠組みなどの提案や、形に合うような仕組みを検討いただきながら、チョイソコの本格運行に向けて引き続き協議していきたい。</p>
<p>【 了 】</p>	